

SERVE TO CHANGE LIVES

Rotary



第2780地区
大磯ロータリークラブ



奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために

2021～2022年度RI会長
シュカール・メータ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 守屋 紀忠 会長エレクト 瀬戸 亨一 幹事 瀬戸 亨一

第2523回

例会

令和3年11月4日 No.7

■司会：布川 史明

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・11月11日：休会 ・11月18日：ゲストスピーカー 11月25日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2523回	16(13)	10	76.92%	—	—
2521回	16(13)	11	86.61%	—	—

◇欠席者（3名）

太田、原、田中さん

◇メイクアップ（0名）



◇ゲスト：吉川さとしさん(大磯町議員)

◇ビジター：藺信夫さん(平塚湘南)

◇出席報告

石山智司委員



◇会長報告

守屋紀忠会長



会長幹事会の報告：

1. 2022年-23年度第8グループガバナー補佐に伊藤和彦さん(平塚西)が決定。
2. 次年度地区大会：
 - ・第1日：2022年10月8日(土)町田のレイクランドホテル
 - ・第2日：2022年10月16日(日)相模原市民会館
今、インフルエンザの予防注射の時期に入ってい

ます。噂か本当か？ワクチンが足りないと言われて
います。申し込んでも受け付けられない…と。実際
にインフルエンザの注射を受けられた人は？ 一人
だけ！私も打ちました。たまたま10月初めに医師に
話をしたら直ぐにうってくれました。最近ワクチン
が不足しているという噂を聞かれた方があれば後で
報告下さい。

◇幹事報告

瀬戸亨一幹事



回覧：

1. 2020-21年度地区会計監査報告書。
2. 前回新会員の集いに参加者を募りましたが、ご
検討頂きましたでしょうか。参加される場合はお知
らせ下さい。
3. ロータリーの友事務所の運営に関してお知らせ
：12月28日まで、以下の対応をお願いします：
(1) 問い合わせは極力メールでお願い。
(2) 電話問い合わせ時間は10:00~16:30の間
3. 友配付は極力第1例会日前に届ける努力をしまし
ますが遅れる場合は別途お知らせ。
4. 編集部による取材・卓話依頼は辞退します。

2021-2022年度地区大会親睦ゴルフ：

1. 開催日：2022年2月28日(月)
2. 場 所：レイクウッドゴルフクラブ東西コース
3. 参加資格：ロータリアンとその家族
4. 締め切り：1月10日(月)
5. 料金：プレー代17,000円+参加費用3,000円。
競技方法：新ペリア方式(ダブルパーカット、ハン
ディ上限(36)、同ネットの場合はグロス、年齢の
順で決定。
6. 日本事務局よりお知らせ
 - ・「在宅勤務延長」
 - ・11月ロータリーレート114円

・2021年11月「ロータリー財団月間」リソースの
お知らせ。(6ページ)

次回例会11月18日：吉川稔さん卓話を12月5日に
延期。18日は河本さん卓話に。

宮澤さんの活動に感動しました：

星槎の宮澤さんから皆さんに郵便が届いていると
思います。SAAG2021年の案内：

=星槎アフリカ・アジア・ブリッジ2021年=

宮澤さんが何年も前から先頭に立って世界中の人々
と交流されている事に感心したので、メモを取りま
した：世界中に向けてボランティア活動をされてい
る宮澤さんはJICAの神奈川県青年協力隊支援協会
の会長を務めておられます。アフリカ大陸との関わり
も非常に強いと知りました。仲間と繋がる架け橋と
いう事で、星槎アジア・アフリカ・ブリッジと受け止
めました。宮澤さんは星槎塾を作った時から信念を
貫き、世界中の人々を結びつけることを担っている
方なんだなと感心、感動しました。そんな方と同じ
クラブの一員だという事に感動しましたし、大磯ロ
ータリークラブも何か一緒に出来ないのかなと思
いました。個人的にも何か関わらせて頂ける事があ
ったらやらして頂きたいなと思い報告させて頂きま
した。

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

鈴木美乃委員



先程のお話ですけど、私もたまたま掛かり付けの先
生のところへ行ったら私何十年もインフルエンザの
注射を打ったことがないんですけど、打った方が良
いよ、今日直ぐ打ちましようと言って打ったです
けど、私の様な人がいたので足りなくなっただん
でしょうか？三日前です。

・守屋紀忠会長：吉川さとし様、本日は卓話よろ
しくお祈りします。

・瀬戸亨一幹事：吉川さとし様ようこそいらっし

やいました。どうぞよろしくお願い致します。平塚湘南RCの菌信雄様ようこそいらっしゃいました。本日はありがとうございます。

・**河本親秀さん**：吉川さとし様、本日は卓話にお越し頂き有り難うございます。お話を楽しみにしております。

・**新宅文雄さん**：吉川さとし先生本日は卓話よろしくよろしくお願い致します。

・**石山智司さん**：吉川様、本日は卓話よろしくお願ひします。

・**布川史明さん**：吉川様、大磯RCへようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。菌様、大磯RCへようこそお越しくださいましたよろしくお願ひいたします。

・**鈴木美乃さん**：吉川様、今日はどうぞよろしくお願ひいたします。卓話楽しみにしております。菌様、ようこそ起こしくささいました。楽しんでいらしてください。

☆ビジター菌さんの自己紹介：

昨年12月に平塚湘南RCに入会し、新会員という事になっていますが、何時はロータリー歴は30年になります。最初はコミュニティークラブがよいと思ひ居住地の東京杉並RCに入会5年間在籍。丁度その時は会社が東京都千代田区八丁堀にあり、会社から毎週木曜日、杉並RCに行くのに往復4時間掛かり、これは無理があると思ひ、次に先輩の伝手を頼り、東京銀座RCに入会し2年前まで在籍。

茅ヶ崎に移住して銀座まで1時間くらい乗るのが辛うございまして、10年くらいこの辺のロータリークラブをメーキャップして歩きました。こちらのメーキャップフィーは3千円と高級ですが、他は2千5百円か2千円。住居の辻堂駅から銀座まで運賃が往復2千円かかり、これではビジターフィーと同じだと思ひ、銀座クラブへ行くのが億劫になり、こちらのクラブに入る方がよいのではと思ひまして、色々なクラブを回りました。平塚湘南は柄が良いんですよ、そしてちゃんと職業奉仕をやっているんですね。私が杉並にいた頃から職業奉仕とは何だろうとずっと考えていたんですね。結局分からず仕舞いでした。銀座ロータリーデも皆同じ事を考えて、仕事を一生懸命やることじゃないかなどと言っていました。結局分からず仕舞いでした。平塚湘南は年1回平塚ラスカで何でも相談会というのを開いています。税理士さん、弁護士さん、お医者さんなどがおられて、一般市民の声を聞いています。見てびっくりしたのは家庭内暴力の本人が来たり、呆けているようなお婆さんが来て、甥っ子達が親から受け取った遺

産を甥っ子が死んだらその子供達（孫達）にどう分けたいのかなどを聞きに来るのを見て、これこそが職業奉仕ではないかと思ひました。翻ってそれを当時いた東京銀座クラブに当て嵌めてみると、それは出来ないんですね。何故かというとい会員が200人くらいおまして。弁護士は15~6人、会社の社長がずらりといて、専門職業人というよりは出世競争を勝ち抜いてきた人達が多いので、これは銀座では出来ないなど。出来るのは適度の大きさと地元密着型のクラブでないといけない、こういうクラブに入ったら私も職業奉仕が出来るかなと思ひ、これが切っ掛けで今のクラブに入った次第です。地域密着型クラブでは仕事では全く関係ない人と1時間話をして帰ってくる。ロータリーって楽しいですね。私は死ぬまでロータリーに居ようかなと思ひています。私は団塊の世代の1期で73才でございまして、後10~15年くらいは居させて貰おうかなと考えます。100才まで生きると子供達に迷惑をかけるので94才くらいまでは…。またちょくちょく来させていただきます。その時はよろしくお願ひいたします。（拍手）

☆**布川SAA**：打ち合わせになかったことをお願ひして失礼しました。興味深い話を有り難うございました。

◇卓話者紹介：新宅文雄さん



今日お話をさせて頂くのは町会議員の吉川さとしではなく「寺子屋式英語教育リングエド」塾の経営者としての吉川さんのお話です。吉川さんは慶応大学総合政策学部を卒業、就職せず、いきなり特殊な塾を開き、学校帰りの子供達に夕食を提供して青少年の育成をやって来られていたのを知りました。大磯RCもこれから青少年育成奉仕がメインになるのではないかと、そういう旨のお話しをして頂くつもりです。よろしくお願ひ致します。

◇ 卓話

◆◆大磯の子育て・教育の未来◆◆

大磯町議員 吉川さとる



自己紹介：

皆さま今日は、改めまして町会議員をしております吉川さとると申します。町会議員をしておりますが、今新宅さんから紹介がありましたようにこの肩書きでなく、この20年弱大磯で子育てをしてきて、子育て世代の立場としてこれからの大磯の子育てや教育を考えたいという観点からお話をしたいと思っております。ただ肩書きを横に置いといたとしても、そうはいかない部分もありますので、時折町の教育行政とのお話しもさせて頂きたいと思っております。

町の議員となって2年近く経つのですが、私が大磯で子育ての現場でやってきた事から考えた思いや意見をじっくりとお話しさせて頂く場というのは思いのほか無いんですね。今日はこういう場を頂きましたのでお話しさせて頂きたいと思っております。

生まれも育ちも岡山県です。岡山市足守で生まれ育ちました。大阪で関塾を開いた緒方洪庵＝当時流行した天然痘のワクチンを接種した医者で、福沢諭吉や大隈重信等が育った関塾を開いた＝も足守出身です。藤沢にある慶應義塾大学の湘南藤沢キャンパスに入学、4年間勉強しました。総合政策学部＝学部横断型の文系科目：法律学、言語学、経済学、地域政策学を浅く手広く学ぶ学部＝に所属しました。在学中に結婚し、子育ても始めました。結婚をして暫くは東京の板橋から藤沢のキャンパスまで通っていましたが、妻と相談して通っている距離や子育てに当たって、田舎育ちの私として自然豊かなところで子育てをしたい、大学にも通える場所という事で大磯に移り住みました。大磯には2004年秋に参りました。それから子供に恵まれて、今6人の子供が居ります。上は大学2年生、高校生が3人、小学生が2人、毎日賑やかに暮らしております。

す。

寺子屋えいご塾：

妻がバイリンガルで英語を教える仕事をしておりましたが、大磯に来て本格的に＝、通信教育がメインの授業＝始め、子育てを二人三脚で一緒にやってきました。徐々に地元で英語を学びたいという子供さんが増えて行く中で地元の生徒さん＝小学生、中学生、高校生、大学生＝で英語を習いたい方が増えてきました。単に英語を教えるだけでなく、今子供達は本当に忙しい時代になってきています。地元の大磯ならよいが小田原や藤沢から通ってくるお子さんが学校を終わって来て、勉強して帰らなければならない。うちは6人の子供がガヤガヤ暮らしていて、ご飯も食べていたので、こういったお子さんに一緒にご飯を食べて、一緒に片付けをして、その後また勉強して帰るというスタイルを提案して希望するお子さんにはそうして貰うことにしました。そうした中で一緒にご飯を食べる仲であるとか、一緒に茶碗を洗うと言う中で、子供達の学習指導だけでは見えてこない一面が見えてきたり、そういった仲で築かれる関係性が授業の中で生きてきますし、一人ひとりの生徒の人生の中で大きな糧になっていた事が分かりました。これは初めから狙ってやった事ではなかったんですが、ゆっくりご飯を食べたりですとか、自分の家族以外の人の話を聞きながら話したり、自分のことを聞いて貰ったり、自分とは違う世代の経験をしている先輩、後輩と話をしたりと言う機会は今本当に少ない。それをとみに感じました。

議員になろうと思った切っ掛けは、子育て中に大磯中学校のPTA会長をやらなかったと言われて2年間やりました。その中で中学校のデリバリー給食＝中々生徒に受け入れられなかった＝について問題提起、何とか改善したいと動きました。その時強く感じたのは、言うことは簡単ですが、どうやって町の教育行政や町政の政策の中に、生徒達、或いは保護者達の声を届けるか？色々動きましたがやはり私達の世代が3人くらいはちゃんと町政に入って声を届けることが必要じゃないかと言う考えに至って議員になったという経緯があります。

少子高齢化も人口減少も「問題」ではない、前提：大磯町で問題意識を聞いていてもご多分に漏れず少子高齢化、人口減少が言われています。しかし今や少子高齢化も人口減少は問題ではなく前提になっています。これを何とかしようというのは時代遅れだと私は感じております。かといって何もしない訳には勿論いきません。ではどうするか？そこをお話ししたいと今日は参りました。

ひと言で言うと人口減少という問題は若い世代が結

婚しない、これは女性の社会進出とか、高学歴化とか晩婚化など色々言われていますが何故若い人が結婚しないのか？例えば恋人も持っていない方が増えてきている。それは何処に原因があるのか？こういうところには中々焦点が当たりません。また結婚した後に子供を産もう、育てようとした時に子供を持ちやすい世の中か？そこが大きなポイントになると思っています。大磯町は幸いにして、この5年間で人口が120人ほど増えています。神奈川県下の市町村で二つだけが増えている。隣の二宮町は800人ほど減っている。増えている要因は30代から40代、結婚されてから子供が一人、二人おられる世帯が多く移り住んできておられる。これを社会増と言います。これらの世帯が子育てし易い町作りをして行くのが一つだと思いますが、私が個人的に非常に大事になってくる事は、社会増ではなくて、**如何にして大磯町で生まれるお子さんを増やすか？**と言う事です。これが地方自治体が生き残って行くに必要なことだと思います。社会増というのは全体のパイが決まっているところから如何に取るかというパイの奪い合いになってしまいますが、出生数を増やす。この町だったらもう一人子供が産めるな、もう二人子供が産めるなどと思って貰える町作りをして行く事で、パイの奪い合いでなくて、この町から生まれる人口を増やして行きたいと考えています。

どうしたら安心して子供が生まれる町が出来るのか？
これは全国の自治体が必死に知恵を絞って取り組んでいることです。私自身が子育てをしながら、学校へ行って先生の話聞く中で、一つ言えるのは先生方は非常に忙しいし、子供達も忙しい。塾や習い事、放課後の遊び時間など。自分のことを思い返してみると、放課後は田圃で野球をしたり、川に入って魚採りをしたり、自然の中で泥まみれになって遊んでいた記憶が無い。今のお子さんは様々な習い事をして、自由な時間で遊び倒す事はどれだけ出来ているかな？と思います。また先生方も昔はなかった仕事、例えば英語教育やICTのプログラミング授業がどんどん入ってきていますし、普段の算数や国語の時間でも機器を使わなければならないので、機器の使い方を先生が習って、教えるという時間が増えてきています。そういう教育の場を見ていると何を教えるか、どう教えるか？教える量と質がどんどん増えていって、どれだけ知っているかがまだ大切な教育の現場かなと感じます。

変わりつつある受験：一方で皆さんが今お務めの会社または社会の中で今求められる人材像というのはどういう風になっているのでしょうか？只、ものを知っている人間が通用する社会ではなくなりつつあると私は感じます。先日高校2年生になる息子の進路説明に行

って参りました。その中で今大学入試が大きく変わってきていると進路指導の先生からお話がありました。私にはその息子の上に大学2年生の娘が居ます。4年前の進路指導の時も同じ話が出ていました。この4年間で入学試験が大きく変わってきている。4年前までは入試センター試験などがあり、一発勝負の受験を頑張ったというところがありました。この間のお話では、英語にしても一発勝負ではありません。高校在学中に2回ないしは3回の英検とかTOEICとかTOEFLを受験して、一番良い成績が使えます。また高校中に頑張った活動＝ボランティア活動とか留学など＝自分がどんな活動をしてきて、自分がどういう人間なのか、どれだけ自分自身で物事を判断して意思決定できる人間なのか等を見るために、今までの評価書でなくて先生が記述で生徒はこういう活動をしていますよといった判断基準がどんどん大きくなってきている。これは一部の私立大学でなくて、公立とか一般の私立大学を含めてこういった受験の変化があるという事を先生が熱く語っておられました。私はその話を聞いて社会が変わり、人材像が変わるとそれに対応するように大学で教えること、求める人材像が変わる、そうすると高校の入試にも影響が出てきます。高校に入るための中学校、小学校での教育も時間差はあるが必ず変化が出てきます。これから社会や学校や受験のシステムが少しずつ変わる段階で、私達保護者や町の教育行政は何処に重点を置いて政策や意思決定しなければいけないかという事を本気で考えなければいけないかなと感じています。

私なりに考えるこれからの大磯の教育はどうあるべきかと言う事をお話しさせて頂きたいと思います。

町として子供をどう育てるか？は凄く大切になって参ります。大きく分けて小学校に入る前の幼児期の教育と小学校に入ってから中学校までの初等教育、ここに関して町がどういう子供を育てて行くのかという事をしっかり考えて行くのが大切になって参ります。

先ず小学校に入る前の幼稚園、保育園、子供園での保育の中で、遊びというものがだんだん合理的になってきてしまっている。昔の泥遊びとか砂場での水遊びとか五感を使う遊びをさせる園が減ってきている。保護者がスマートな遊び、汚れない遊びを求めるような傾向がありますので。そうではなくて、子供の頃にしっかり体を使って五感を育てる保育をして行く必要があるのではないかと考えています。またプレイパーク＝これは二宮町で実施しているのですが＝東大果樹園跡地という公共の昔農園だった跡地を使って、民間の有志が週末子供達が自由に遊んで良いよと焚き火をしたり、木登りをしたり出来る遊び場を提供していま

す。大磯にも多くの自然がありますので、水遊び、川遊び、山遊びが出来る場をしっかりと作って行く事が大切だと思っています。

先ほども申しましたが、教育のことですが、教える、教える、詰め込む教育が幅をきかしてきていて、どうしても主体性を育む教育が出来るのか、子供達が社会に出てきた時に自分の頭で考えて判断が出来る、その場その場で臨機応変に考えられる子供をどうすれば育てられるのか？中々一つの答えは出てきませんが、今まで教育の“教”が強かったと思うのですが、そうではなくて教育の“育”の方をどれだけ私達大人が大磯らしい育みを今後創って行けるか、それが大きな課題になってくると思います。

そうして中で大磯町でも着実にそうして変化は訪れていると思います。お聞きになっているかも知れませんがコミュニティスクールが来年度から大磯町の学校の現場でも試行的に実施されます。当然学校は地域の中にあって地域の方に支えられて来たのですが、今は少し地域から孤立しつつあると言う学校長もいます。地域の中核となって、地域の課題を学校の課題と一緒に会話を通して解決して行くという取り組みを来年度から進めて行こうとしています。

P T Aについても昔からあるP T A=聞いたところによれば大磯中学校のP T Aは日本で最初に出来たP T Aと言う事ですが=も少しずつ変化し始めています。これは今まで義務化が強かったP T A活動が自由に参加できる=入りたくない人は入らなくてよい=とか、反対に大人達の育ちの場にしようと言う動きが出ています。

学校の現場に目を移しても、英語教育やI C T教育が入ってきますが、どれだけ沢山の英単語を知っているか、プログラミング言語を知っているかでなくて英語やI C Tを道具として使えるか？が大切になってきます。

皆さんにとって良い教育とは何か：

大磯町でも教育ビジョンを創ろうと教育委員会が言い始めています。教育ビジョンとはこれから「町としてどういう子供を育てたいのか」を教育委員会だけでなく保護者や学校、地域の皆さまのご意見、そして子供達も交えて一緒に作って行こうというかなり大きなスケールの取り組みが始まっています。何故教育ビジョンが必要かといいますと、沢山の公共施設をどう維持して行くかという中で、実は全公共施設の半分が幼・小・中の教育施設で占められています。その中で、小・中一貫教育、そこに幼稚園も入れた幼・小・中の一貫教育、それをするメリット、デメリットの話をして行く中で、公共施設の改善もして行かなければならないと

言う状況になっています。ハードの面も大事ですが、ビジョンを作って行く中で「大磯らしい教育とは何だろう」と言う話をして行かねばならないと思っています。今既に出ている話では「大磯学」を創って取り組んではどうか？「大磯学」とは何か？大磯には海があり、山があり、昔から漁師の生活があり、農業がある。また古くは古墳時代遺跡があったり、江戸時代や戦後の歴史があるので、それらを教育の中に組み込む、つまり教科書の学習だけでなく、実際に大磯町にある遺跡に行ってその研究をしたり、中学校2年に職業実習があり、今は町内のお店や平塚のお店などで実体験をさせて貰っていますが、それを漁師さんと一緒に、これからどうすれば大磯町で漁業が盛んになるだろうかを一緒に考えさせて貰うとか、大磯ならではの学習の展開が必要じゃないかと言う風に考えています。

これまで私なりに良い教育とは何かを考え続けてお話しさせて頂いたんですが、一番大切なことは「良い教育とは」何なのか？「良い子育て」とは何なのか？皆さんに考えを問う=保護者、学校現場、地域の皆さまの中で「良い教育とは何だ」という事を対等な関係で対話をして行く。こういうコンセンサスを創って行くことが大切になって行くと思っています。大磯に来れば子育てや教育は安心だと思える地域作りをして行く、そこが大きなゴールになると考えております。

是非皆さんから忌憚のないご意見を頂ければ有り難いと思います。以上です。

瀬戸さん：有り難うございました。たまたま私は国府中学校のP T A会長をやっています。課題が多すぎて…、吉川さんのお話で、幅広い範囲で子育てから教育のお話されて、全部叶えようとするれば大変な力が必要だと思いますけれど、町の皆と対話しながらやって行くことは外せないと思います。今後町議会の方と関わって行かれるのか…？難しさだけが詰め込まれた感じがして、何とか応援したいなと思いました。私や大磯クラブを使って頂けたらと思います。頑張ってください。

守屋会長：吉川さん卓話有り難うございました。子供を育てるといのは中々難しいです。年を取ると子供から離れて行く訳ですが、これから高齢者が増え、子供の数が減って行き、同数くらいになる。子供の方を大人が向かないと、この世の中回って行かなくなると思います。育むということは大切なことです。これからもこの課題を追求してやっていって下さい。よろしくお願ひします。

以 上